

平成27年度 岩倉中学校将来ビジョン(3年先を見据えた成長戦略)

生徒の意欲的な活動・表現力の高まり

平成27年度 HOP

平成28年度 STEP

平成29年度 JUMP

誰にでもできる当たり前のことを誰にも真似できないほど非凡に徹底する(ABCDの原則)

当たり前のレベルアップ

そろえる+

そろえる

- ものや服装をそろえる(整理・整頓)
- 時間をそろえる(2分前着席)
- あいさつや礼儀をそろえる

常が大事

- もてる力を出し切る
- 裏表のない人間になる
- 過去の自分と今の自分を比べる

誰かのために(利他の心)

- 身体と時間を使って人を喜ばす
- 小さなことに大きく感謝する
- だれの仕事でもない仕事を自分の仕事にする

自問清掃

がまん清掃(がまんする心を身に付ける)

- しゃべらない
- まず1分、できたら2分と前向きに挑戦
- まじめにそうじしている人のじゃまをしない

はっけん清掃(自分の力で仕事を見つける)

- 仕事を見つけて清掃する
- 最後まで見つけ通す
- 一見きれいなところからさらに見つける

しんせつ清掃(力を合わせて気働きをする)

- 言葉ではなく行動で協力する
- 友達の気持ちを考え、心つなぎ清掃を目指す
- 何故するのか自問しながら清掃する

教師と生徒の相互評価力(聴く力)を高め、授業研究が文化として根付く学校へ

授業研究の日常化

聴く力の育成

発言の客観的理解

- 話し手に姿勢を向ける
- 自分の言いたいことを抑え、まず耳を傾ける
- 内容を正しく聴き取る

話し手に寄り添い解釈

- 話し手の気持ちに共感的になる
- 自分のもっている知識に固執しない
- 文脈に即して話を理解する

自分の考えと結びつけ熟考

- 話し手の話から新しいことを発見できる
- 話の内容をそれ以前の内容と関連付ける
- 自分の考えと内容の相違を捉えて発言する

授業研究

能動的な授業研究

- よく見せるのではなくありのままを見せる
- 参加した全ての人が何を学んだかを語る

相互作用的な授業研究

- 多様な子どもの学びと授業の見方を学ぶ
- 授業へのより深い理解や抽象化が生じる

共同構成的な授業研究

- 検討に値する内容や課題が焦点化される
- 次につながる共通の考え方や課題が生れる

自分たちで課題意識をもち、自分たちで解決しようとする自己と集団の育成

自治的活動の活性化

集団づくり

安定的集団

- 集団のルールが定着している
- 互いの個性を認め合っている

親和的集団

- 規則正しい行動が温かな雰囲気で開催する
- 自他の成長のために協力できる

自治的集団

- 集団のルールが生徒に内在化している
- 自分の理想を追求したいと思える

生徒会

意識を高める

- 各種キャンペーンが繰り返され、徹底される
- 自分たちで振り返り、呼びかける

当事者意識をもつ

- 必要な啓発活動が自主的に計画される
- 個々の役割を自覚した取組が展開される

社会へ参画する

- 社会的な活動に参画する
- 岩中から当たり前を発信する

心を耕す道德教育

耕した心に方向性を与える生徒指導・キャリア教育

実際に動き出す生徒会活動・ボランティア

学校評価・肯定的な評価

進化し続ける学校(常に3年先の目標をもつ)

教員が自信をもって教育活動にあたる

生徒のよさを積極的に評価・情報発信